



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

トルコ：クルド労働者党 (PKK) の撤退

(4月25日付現地報道)

25日付現地報道によれば、クルド労働者党 (PKK) のカラユルン幹部らが同日、記者会見を開き、「5月8日から撤退を開始する」と発表した。同幹部の発言概要は以下の通り。

1. PKK は、5月8日から、トルコ国外への撤退を開始する。
2. もし、撤退に際して、PKK メンバーがトルコ軍により攻撃された場合には、撤退は中止され、PKK は「自衛のための正当な権利」を行使する。撤退に際し、独立代表団がモニタリングすべきである。
3. PKK メンバーが民主的基盤の上で政治に携わることが認められる新時代が待っている。これは、イムラル島に囚われている我々の指導者 (PKK のオジャラン指導者) と、多大な犠牲を払った 40 年近い我々の闘争のお陰である。
4. PKK メンバーのトルコ国外への撤退は、トルコにおけるクルド問題の解決と民主主義の強化に繋がらなければならない。この全ては、中東における平和の再構築への道を啓くであろう。この歴史的な夢が成功裏に完了されることは、平和、友愛、民主主義および自由を欲する我々全ての共通の目標である。
5. PKK メンバーの武装放棄は、我々の指導者オジャランを含むクルド運動の活動家たち全てが釈放された時にのみ、議論の対象となるだろう。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799